

軍事・歴史・政治・経済研究紙

MONTHLY DAITOH-NEWS

本紙の年間購読は本体3,000円+税です。

中国に裏に隠れた政治戦略

友好の裏には国家的なボイスやジェスチャーが潜む。そのゼスチャーの裏側に暗躍するのが秘密諜報員である。科学協力、技術協力、スポーツ協力、芸術協力などを名目にして、日中合作などと称する芸術や映画、テレビドラマなどはこうした政治的ジェスチャーの、最後に敵を倒すための「闘争芸術」である。こうした政治的思惑も知らず、安易に接近すると、その隙を突かれて転覆させられることもあるのだ。

今、中国では若者の大半が日本へと憧れる。しかしその背景には、こうしたスパイ諜報に基づく国家公安部の思惑が働いているのである。中国の若者に日本語を指導し、その日本語能力を以て、国情を探るといのが彼等に与えられた使命であり、これが最終的な彼等の最高任務なのである。中国人食堂(主にラーメン店)や整体術(スーパーマーケットに一角に入り込んだ中国人のクイックマツサージなど)を名目に、料理人や整体師に成り済まして、日本に潜り込んでいる中国人の集団は、国家公安部の指令を受けた反日工作の秘密諜報員たちである。そして国際軍事アナリストの間では、中国の諜報活動は目覚ましいものがあるとされている。

この総参謀部第二部は、正式には「中国人民解放軍総参謀部第二部」といい、日本から得た無償の援助資金を活動資金として、アメリカの核物理学や宇宙兵器に関する最高水準の技術を盗み、自国の武器開発に応用している。またこの第二部では、台湾撃退のために南米からの投資を騙って、台湾政府の転覆のために多額の資金を送り、老練で、狡猾な、中佐以上の地位を与えられた十数名の台湾政府工作員を逆スパイに仕立て上げ、彼等を中心に政府転覆の工作を進行中である。日本は世界中のスパイにとつて、スパイ天国である。日本の法律にはスパイ活動を禁止したり、それを罰する法律がなく、野放し状態である。東京には、ありとあらゆる国のスパイがめまぐるしい、熾烈な情報戦が繰り広げられている。特に日本人と同じ肌を持つ、中国や朝鮮半島、東南アジア諸国からの諜報部員は多く、その中でも、中国のスパイ活動は人民解放軍から選抜され、選り抜きの超一流のスパイが活動している。そのスパイの多くは身分を変えた若いインテリ女性であり、北京政府よりの与野党の政治家によつて、彼女らは紹介され、「通訳」として日本人の政治家に張り付いたり、財界の企業トップに取り憑いたり、茶吉尼天あるいは金毛九尾さながらの、ターゲットに食い下がれる技術をも身に付け、お色気戦法で政財界の重要人物に取り憑いている。

聖地に絡む宗教戦争 (その四十) 米国イオンド大学教授 曾川和翁

ユダヤ教を母体にしたキリスト教は、神による厳しい処罰のみを脅迫し、心構えや行動律のみを重視して、幾らかの道徳律を付け加え、厳しく実行するよう強要したものである。そしてこの教養の原動力になつていくものは、旧約聖書に書かれた預言の数々である。多くの預言には、単に未来を人間の思惑で予言しただけではなく、《予定説》の拡大解釈によつて、それに違反した場合、神による厳しい処罰がある事までも、神の言葉として預言し、強要しているのである。そしてそれが実行されない場合、「敵罰の処す」という魔界の常套手段を聖書の中に付け加えたのである。

人間が恐怖を抱けば魔界の神の虜になる事は明白である。そこには人間の抱く想念が働くからだ。そしてその想念は悪想念となり、それは魔界と直結する事になる。人間を恐怖に陥れば、魔界の餌食となり、低俗な迷信を持つて人間を何処までも縛り付けるのである。まさに十字軍の

れる麻薬や覚醒剤であり、その約三〇％程が雲南省の山岳地帯で産出された中国製のものである。これは日本の将来を担う青少年を、これらの有害な薬物で汚染して、神経を破壊して廃人同様にする一種の政治工作である。

中国の国家戦略を展開する上で、先立つものは「マネー」である。中国政府は政府の開発援助資金として、日本から多額なマネーを引き出すと同時に、それを達成するために幾つかの成功例として、中国での外資企業をでつち上げ、日本に投資させることを政治的任務としている。

一方キリスト教では、イエス・キリストは人類の罪を償う為に十字架に掛けられたと教えられているが、これほど欺瞞に満ちた教えはない。敬虔なキリスト教は、どうしようもないほどキリスト教の教義を誤解しているのである。イエス・キリストは十字架の上の死によつて、全人類を神に対する罪の状態で贖たとして、この世を去った。キリスト教の根本的な教義であると、キリスト教徒達は盲目的に信じているのである。

九州科学技術研究所 URL http://www3.ocn.ne.jp/saigouha/ 大東流霊的食養道HP www.daitouryu.com/syokuyou/ 癒しの杜の会HP www.daitouryu.com/iyashi/ 九州科学技術研究所 Kyushu technology Institute